

生活「平成28年度の重点」授業構想シート

生活	本県の課題	目指す子供の姿
	<ul style="list-style-type: none"> ◆体験活動を通して得られた気づきの質を高めるための支援が十分に行われていないことがある。 ◆一人一人の思考過程を丁寧に見取り、支援することが十分に行われていないことがある。 	<p>○自分の思いや願いの実現に向けて、対象への働きかけや人との関わり方などを自分なりに考え、主体的に活動することができる。</p>

①気づきの質を高める支援の工夫

- ◇対象にじっくりと繰り返し関わり、試行錯誤したり納得のいくまで追究したりできる体験活動を設定する。
- ◇子供の伝えたい思いを大切にしながら多様な表現活動を取り入れ、他者と伝え合い交流する場を充実させる。

②子供に寄り添った見取りと支援

- ◇「指導と評価の計画」を作成し、学習活動や配当時間に応じて重点的に評価する場面を捉え、多様な評価方法で子供の姿を多面的に見取っていく。
- ◇見取ったことに共感したり、意味付けたり、価値付けたりして、子供に寄り添った支援に努める。

月 日 ()	学校	年 組	授業者	
単元名				

1 気づきの質を高める支援の工夫

①単元のねらい

②体験活動の設定
(対象にじっくりと繰り返しかわり、試行錯誤したり納得のいくまで追究できる活動)

③表現活動の設定

④伝え合い交流する場の設定

2 子供に寄り添った見取りと支援

評価の場面・方法

生活「平成28年度の重点」授業改善シート

生活

本県の課題

- ◆体験活動を通して得られた気づきの質を高めるための支援が十分に行われていないことがある。
- ◆一人一人の思考過程を丁寧に見取り、支援することが十分に行われていないことがある。

目指す子供の姿

- 自分の思いや願いの実現に向けて、対象への働きかけや人との関わり方などを自分なりに考え、主体的に活動することができる。

①気づきの質を高める支援の工夫

- ◇対象にじっくりと繰り返し関わり、試行錯誤したり納得のいくまで追究したりできる体験活動を設定する。
- ◇子供の伝えたい思いを大切にしながら多様な表現活動を取り入れ、他者と伝え合い交流する場を充実させる。

②子供に寄り添った見取りと支援

- ◇「指導と評価の計画」を作成し、学習活動や配当時間に応じて重点的に評価する場面を捉え、多様な評価方法で子供の姿を多面的に見取っていく。
- ◇見取ったことに共感したり、意味付けたり、価値付けたりして、子供に寄り添った支援に努める。

月 日 ()	学校	年 組	授業者
単元名			記入者

1 気づきの質を高める支援の工夫

①単元のねらいがはっきりしている。	4 - 3 - 2 - 1
②対象にじっくりと繰り返しかかわったり、試行錯誤したり納得のいくまで追究したりできる体験活動ができている。	4 - 3 - 2 - 1
③子供の伝えたい思いを大切にしながら多様な表現活動がなされている。	4 - 3 - 2 - 1
④他者と伝え合い交流する場を充実させている。	4 - 3 - 2 - 1

2 子供に寄り添った見取りと支援

①学習活動や配当時間に応じて重点的に評価する場面を捉えている。	4 - 3 - 2 - 1
②多様な評価方法で子供の姿を多面的に見取っている。	4 - 3 - 2 - 1
③共感したり、意味付けたり価値付けたりして、子供に寄り添った支援をしている。	4 - 3 - 2 - 1

[メモ]